

編集後記

今回の特集号では、産業界の求める人材育成との関係において、学術が横方向に統合される可能性が検討された。ただ、このような取り組みは、産業と学術の連携だけに留まるものではなく、今後さらに広範な領域に拡張して行くことが期待される。もはや産業から生活、生活から存在というように、より普遍的かつ基本的な価値観にひとびとの関心がシフトしつつあるからである。このような背景の中で、今後の横幹を考える上で重要な問いが見えてくる。それは「何において横断なのか？」という

問いである。この「何において…」という横幹の立つべき場所への問いかけを忘れてしまうと、横幹はいわゆる個別学問に戻ってしまうであろう。横幹という「姿勢」が創造的システムでなければならない必然性がここにある。つまり、閉じた境界を設定し、その内部だけを考える従来型の学術システムではなく、それを包摂する外部（他者性）への「気づき」が求められているのである。これは学術と社会のコミュニケーション、あるいは合意形成の問題であろう。社会的インタフェースとしての横幹という在り方である。

会誌編集委員会 三宅美博（東京工業大学）

【特定非営利活動法人 横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合）】

2008年度役員

会 長	木村英紀（（独）理化学研究所）	
副 会 長	鈴木久敏（筑波大学）	舘 暉（東京大学）
理 事	青木克己（東海大学）	遠藤 薫（学習院大学）
	大熊和彦（東京工業大学）	帯川利之（東京大学）
	神田雄一（東洋大学）	佐野 昭（慶應義塾大学）
	榎木哲夫（京都大学）	杉江俊治（京都大学）
	高橋 進（東海大学）	椿 広計（統計数理研究所）
	出口光一郎（東北大学）	西村千秋（東邦大学）
	原 辰次（東京大学）	廣田 薫（東京工業大学）
	古田一雄（東京大学）	梅干野晁（東京工業大学）
	松井正之（電気通信大学）	山崎 憲（日本大学）
	山中敏正（筑波大学）	山本正宣（（株）シグナルコンサルタント）
監 事	木村忠正（電気通信大学）	藤井真理子（東京大学）

2008年度 会誌編集委員会

委 員 長	原 辰次（東京大学）	
副委員長	大倉典子（芝浦工業大学）	
委 員	加藤象二郎（愛知みずほ大学）	金子勝一（山梨学院大学）
	杉江俊治（京都大学）	杉野 隆（国土館大学）
	竹山春子（早稲田大学）	椿 広計（統計数理研究所）
	長嶋雲兵（産業技術総合研究所）	奈良高明（電気通信大学）
	三宅美博（東京工業大学）	山田雄二（筑波大学）
	山本正宣（（株）シグナルコンサルタント）	